

大会（試合）開催に関するガイドライン

2020年7月7日

一般社団法人 全日本少年硬式野球連盟事務局

大会主催者、大会関係者及びチーム関係者は、大会開催及び大会期間中の試合、移動、宿泊、等において、以下の対策を参考にし、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めると共に、各地域、各施設からの指示や要請に従って適切な対策を行うものとする。

【 基本対策 】

- 日々、体調管理に努め、毎朝検温を行い、記録を残すこと。
- 大会役員、審判員、チーム関係者(役員、指導者、選手、保護者、等)は、当日の朝に検温を行い、体温が37.5℃以上、もしくは体調に何らかの異常を感じる場合は、参加を禁じる。
- 人との距離はできる限り2m以上を確保する。運動時は呼気が激しくなるので特に注意する。
- 密閉、密集、密接のいわゆる3密を避け、出来る限りマスクを着用する。

【 大会運営に関する対策 】

- 開会式、閉会式は行わず、表彰式は最低限の人員で素早く行う。
- 運営スタッフは必要最小限の人数で構成する。使用する部屋は定期的に換気を行い、3密を避け、十分な広さが確保できない場合は、入室する人数を制限するなどの措置を講じる。
- 球場への到着時、あるいは帰宅時の本部席への挨拶はチーム代表・主将のみでマスク着用で行う。
- 本部席、ベンチ、トイレには消毒液、ハンドソープを設置する。
- 接待は行わない。飲料は個別のペットボトル、水筒、缶、紙コップなどを使い、容器は共用しない。
- 試合前の審査は、大会役員、審判員、選手及び指導者がマスク着用で行なう。個人審査の際は、選手証、あるいは指導者証の確認のみとする。
- メンバー表交換は、球場責任者、審判、監督、主将のみでマスク着用で行う。
- 場内アナウンスは、必要最小限の人員で行い、3密にならないように配慮すること。困難な場合は、場内アナウンス無しとする。
- 屋食を摂る際は、なるべく周囲と距離を置き対面を避け、会話は控える。
- 審判員は、審判委員会発行のガイドラインに従って対策を行う。

【 試合中の対策 】

- 試合開始前の両チーム整列は、審判員、監督及び先発出場の選手9名とし、2m間隔で整列する。挨拶時には発声せず、一礼のみとする。また、コーチ、スコアラー及び控え選手は、ベンチ前に2m間隔で整列し、主審の合図で一礼する。

- ベンチ内では指導者、選手同士の間隔の確保に努める。十分な間隔の確保が困難な場合は、危険防止策(ヘルメット着用、グラブ保持、防球ネット敷設、等)を講じた上で、ベンチ外に待機場所を設ける。
- 打席、ランナー、守備に就く選手以外の控え選手、指導者及びランナーコーチは、マスクを着用すること。(熱中症にならないように、時々マスクを浮かせて換気すること)
- 素手でのハイタッチ、グータッチ、握手及びメガホン使用を禁止する。
- 作戦指示や投手交代、等の伝達は大声を出さず、可能な限り接触は避ける。
- ベンチから声出しは控えること。
- ベンチへ持ち込む飲料は個別のペットボトル、水筒、缶、紙コップなどを使い、容器は共用しない。
- 試合終了時の整列は、審判員及び試合に出ている選手 9 名のみとし、挨拶は発声せず、一礼のみとする。監督、コーチ、スコアラー及び残り選手は、ベンチ前に 2m 間隔で整列し、主審の合図で一礼する。
- 試合終了後はベンチの消毒を行う。

【 チーム関係者に関する対策 】

- 自宅から大会会場への移動時あるいは帰宅時は、常時マスクを必ず着用とする。移動の際に使用するバス、等の車内では、3 密を避け、こまめな換気に努める。
- 試合会場での待機中は、密の状態に成らないように分散して待機すること。
- 屋食を摂る際は、なるべく周囲と距離を置き対面を避け、会話は控える。飲料は個別のペットボトル、水筒、缶、紙コップなどを使い、容器は共用しない。
- 宿泊を伴う場合は、次のことを考慮する事。
 - ① 宿泊は、出来る限り一人部屋かつ同じフロアに宿泊することが望ましい。
 - ② 食事は、ビュッフェスタイルは避け、隣同士との距離を空ける。
 - ③ ミーティングを行う場合は、換気が充分行える場所で、隣同士との距離を空ける。
- 原則として無観客とするが、チーム関係者が球場のスタンド、等で応援する場合は、全員がマスクを着用し、適切な間隔(2m 以上)を確保し、大きな声で会話、応援、等をしない。
- 試合終了後速やかに会場から退出するなど、チームは会場滞在時間を極力短くする。

【 感染者、等が発生した時の対応 】

- 大会主催者、大会関係者及びチーム関係者の中から感染又は感染の疑いがある関係者が発生した場合、可能な限り即時帰宅させ、かかりつけの医師か保健所の指示を仰ぐ。症状が重い場合や自力での帰宅が困難な場合、等は、必要に応じて現地の保健所に問い合わせ、指示に従う。
- 大会の継続が難しい状況となった場合は、無理に継続せず、中止もしくは延期の措置を取る。